



主要な農作物の生育情報

令和2年度 第12号

(令和3年3月8日)

福島県農林水産部農業振興課



【小麦】

幼穂形成始期は農業総合センター本部（郡山市）で平年並み、農業総合センター浜地域研究所（相馬市）で平年より5日早くなっています（表1）。

3月1日の生育は、郡山で平年に比べ草丈が短く、茎数がやや少なく、葉齢は平年並み、相馬では草丈、茎数が平年並み、葉齢はやや多くなっています（表2）。

表1 農業総合センターにおける小麦の生育ステージ

調査場所	品 種	は種期 (月.日)	出芽期 (月.日)	幼穂形成始期 (月.日)	節間伸長開始期 (月.日)	出穂期 (月.日)
郡 山	きぬあずま	10.20(+2)	10.31(+3)	1.21(±0)	(平年値3.6)	(平年値4.25)
会津坂下	ゆきちから	10.5(+1)	10.11(+1)	(平年値3.15)	(平年値4.2)	(平年値5.9)
相 馬	きぬあずま	10.26(±0)	11.7(-3)	1.26(-5)	(平年値3.10)	(平年値4.25)

※農業総合センター本部（郡山市）および、同会津地域研究所（会津坂下町）、浜地域研究所（相馬市）の調査による。（ ）内の数字は平年差、平年値。

表2 農業総合センターにおける小麦の生育状況（3月1日）

調査場所	品 種	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (葉)
郡 山	きぬあずま	18.9(70)	1,030(96)	7.5(+0.1)
会津坂下	ゆきちから	—	—	—
相 馬	きぬあずま	21.6(100)	1,220(102)	7.6(+0.5)

※調査場所は表1に同じ。（ ）内の数字は平年差比。

【野菜】

1 秋冬にら

中通りでは、降雪や低温の影響から伸張が遅く、葉身も細く生長しました。現在は概ね平年並に2年株の4番刈り、1年株の3番刈りとなっています。

病害虫は、一部のほ場で白斑葉枯病が発生しています。

2 いちご

生育は概ね平年並で、第1次腋果房の収穫ならびに第2次腋果房の開花結実期を迎えています。降雪や低温の影響により果実の着色が遅いものの、肥大は良好となっています。

病害虫は、一部のほ場でハダニ類、うどんこ病が発生しています。

【果 樹】（3月1日現在 福島県果樹研究所）

1 発芽予測（果樹研究所、3月1日現在）

今後の気温が平年より2℃高く経過した場合には、果樹の発芽はもも「あかつき」が3月17日頃で平年より7日早く、なし「幸水」が3月29日頃で平年より3日早く、りんご「ふじ」が3月21日頃で平年より6日早いと予測されます。

なお、この時期の生育は直前の気温に左右され、今後の気温の推移により大きく変動することがあるため注意が必要です。

表3 発芽予測日 [予測方法：発育速度（DVR）モデルによる発育予測]

	発芽日		今後の気温経過		
	昨年	平年	平年並	2℃高い	2℃低い
あかつき	3月19日	3月24日	3月21日	3月17日	3月25日
幸水	3月23日	4月1日	4月2日	3月29日	4月7日
ふじ	3月26日	3月27日	3月25日	3月21日	3月31日

注) 発芽日の平年は1991～2020年の平均値。

【花 き】

1 ユキヤナギ

出荷は12月中旬から始まり3月まで続く見込みです。一部の枝で花飛び等がみられ、出荷量が減少しています。

2 サクラ類

東海桜等の出荷が行われています。出荷は順調に進んでおり、4月上旬には終了する見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>